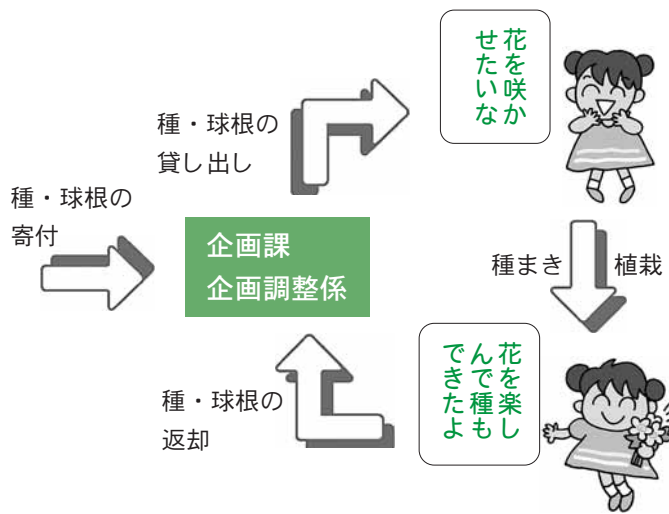


『花の種銀行』はじまる

四季折々の花の種や
球根を貸し出します



「花の種銀行」のイメージ



夏のような日差しを浴びた、5月7日(水)新屋幼稚園では「花の種銀行」のサルビアの種をプランターにまきました。つばめ組の園児たちは、きれいな花が咲くように大切に育てていくことをみんなで約束しました。

「花の種銀行」は「花を咲かせてみたい」、「花いっぱい町、地域にしたい」と思っている家族、地域のグループなどを対象に、種や球根を、

企画課企画調整係
内線241・243

貸し付け、育ててもらいます。花を楽しんだ後に、収穫した種を返済していただき来年の貸し出し分とする銀行です。種の収穫が出来なかつた場合は、返済は免除します。また、別の種での返済も受け付けます。自ら育てた花の種の寄付も受け付けますのでご協力ください。

貸し付けは年に4回行い、種をまくのは町内に限ります。すべての申し込みは、企画課企画調整係で受け付けています。

花の種を循環させ、花と緑に囲まれた環境づくりに参加しませんか。

○第1期配布 サルビア

↓6月13日(金)まで

今後はコスモス・パンジー・チューリップを予定しています。

花の種銀行へ種(球根)の
寄付がありました

ニホンオキナグザ 齊田勝夫さん
(福島)
サギソウ 小柏義夫さん
(吉井町)
ありがとうございました



シバザクラで 「かんら」

県道下高尾小幡線の福島駐在所北に「かんら」とシバザクラで植えたのは、福島県の山田一枝さんです。「シバザクラは町のあちこちで見かけるようになったので「かんら」と文字を入れてみました。今後は白い花を入れてより文字が目立つようにしたいです」と話してくれました。

あざやか ピンクの壁

17区芝桜育てる会（田村教祐会長）が、一昨年の秋に苗を植え、除草など管理をしてきたシバザクラが、長さ90cmのピンク色の壁になりました。場所は福島駐在所東です。

4月29日（火）にはシバザクラ祭りが開催され、会員とその家族



に一般客も参加して満開のシバザクラとおでんや甘酒などを楽しみました。



田村会長は「草が生い茂っていた場所だったので、昨年は毎週日曜にみんなで除草して大変だったが、大雨に負けずにきれいに咲いてくれた。来年は隙間なく一面に咲くのが楽しみだが、これからは維持するための病気の予防や追肥が必要になるだろう。みんなで作業するからできるんです」と話してくれました。

菜の花プロジェクトin甘楽 一面の菜の花畑で お花見会

菜の花で資源循環型の町づくりをすすめる「菜の花プロジェクトin甘楽」は会員とその家族でお花見会を開催しました。4月19日（土）、小幡の中小路町営駐車場には40名が集い、菜たね油で揚げたてんぶらやバーベキューに舌鼓を打ちました。コーラスグループ“デリコル”の歌声とバイオリンの演奏が披露され、参加者は春の一日を満喫しました。

また6月21日（土）には駐車場に隣接する菜の花畑で菜たねの収穫を予定しています。



協働の花いろいろ